

岐阜市自然環境保全推進委員会

普及・活用部会からの追加資料

(1) 生物多様性への取り組みを「あたりまえ」していくために

- ・自然環境の保全は、単に「いろいろな生き物が棲息できる環境づくり」のためだけでなく、そこに暮らす岐阜市民が生物多様性をあたりまえのものとして受け入れ、生活の中である意味「意識することなく」取り組んでいくものとしていく必要があります。
- ・持続可能な地域づくりという点では、国連で採択された「持続可能な開発目標 (SDGs)」の達成に向けた取り組みが深く関係してくるものと考えています。また、SDGsには幅広い人たちが関わりながら展開することが重要とされています。

(2) そのために委員会として取り組むべきこと

- ・委員会事務局および委員が取り組んでいるさまざまな事柄をSDGsと関連づけて考える。また関連する事項について整理する。
- ・多くの企業がSDGsに取り組む現状を踏まえ、岐阜市でもSDGsの普及に絡めながら生物多様性の取り組みに結び付けていく。
- ・委員会事務局および委員が関わりのある企業、団体等にも呼びかけながら、持続可能な(持続させるべき)取り組みとして生物多様性への取り組みおよびSDGsの取り組みを認識してもらい、認知度の向上を目指す。

